

# はじめに

九州地区大学体育連合理事長 市川孝夫

平成11年度の九州地区大学体育連合機関誌「体育・スポーツ教育研究」平成12年度第1巻第1号(旧「九州の大学体育・スポーツ」26号)をお送り致します。

会員の皆様方の暖かい励ましを戴き、3年間の事務局業務を終了することができました。心から感謝申し上げます。

この3年間、多くの大学では体育は必修から選択へ移行し、更に特色のある教科内容の充実に努力を重ねて参りました。

国立大学の独立行政法人化が本格化し、更に公立大学もその方向に固まって来ました。独立法人化は端的に申せば自前で大学経営の資金を作れということであり、教科経営に多くの予算を必要とする体育教育では大きな課題を背負うと同時に体育人の器量が問われます。

3年間の研修事業を総括しますと「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」の表題のもと、春季研修会は「大学改革と大学体育の貢献性 Part I～III」と取り組み、秋季研修会は「マリンスポーツ」をテーマに「カヌーとスキューバダイビング」「シーカヤック」「大学体育における野外教育の位置づけ」と実技、講義の両面から研修しました。

春季研修会では、各界で先駆的活動をしている方々に講演を依頼し幅広く学習し、「セクシャルハラスメント」「ティーチング・ポートフォリオ」等今日的な課題研究を積極的に取り入れてきました。

改革事項として、①会長に大学体育関係者に就任戴くこと。②事務局を各県持ち回り制とし、次期事務局を熊本県九州東海大学に依頼しました。

連合の今後の課題は、①大学体育教員の課外活動との関わり方。②学生スポーツ連盟との関わり方をどう進めるかが残され、更に③国と国民の期待する健康と健康体力づくりに対し、大学体育指導者がどのような方向性が示せるか、大学体育指導者の力量が問われる時期に来たと考えます。

3月31日、九州東海大学 米沢久理事長中心とする新事務局に無事バトンを渡すことができましたことをご報告致します。

3年間にわたる九州歯科大学、九州工業大学、西日本工業大学、西南女学院大学、九州女子大学、福岡県立大学、産業医科大学の7大学による連合事務局活動が無事勤められましたことは、会員大学並びに理事会の終始熱い御支援の賜と事務局員一同こころから感謝申し上げます。

本号より機関誌の名称が「体育・スポーツ教育研究」に変わりました。3月の第3回理事会・総会において、教員の教育評価の高まる中で本誌の報告は高い評価に値するものが多いにも拘らず、報告書故に教育業績として評価を受けにくい現状に対し活発な討議がなされました。その結果、投稿された原稿に対する査読制度を設け教育業績として評価される機関誌を目指すことになり、名称を「体育・スポーツ教育研究」とすることになりました。

本号から投稿原稿は査読を実施しました。その結果発行が遅れましたことを御報告し併わせて御詫び申し上げます。

平成12年12月

# 目 次

はじめに	市川 孝夫 (理事長)	1
<b>I. 教育研究論文</b>		
1. 原著論文 運動に伴う一過性のポジティブな感情の増加とメンタルヘルスの改善・向上との関係	橋本公雄・渡壁史子・西田順一 (九州大学)	5
2. 資料論文 大学生のライフスタイルと健康実態について — 4大学の比較調査から —	波多野義郎・庭木守彦・佐久本壽代・松田智香子 (九州保健福祉大学) 萩 裕美子 (鹿屋体育大学)・加藤敏明 (鳥取大学) 山田俊二 (明治薬科大学)・大勝志津穂・比嘉あさの (鹿屋体育大学)	13
<b>II. 体育・スポーツ教育</b>		
1. 提言 大学体育の十字路	佐久本 稔 (福岡女子大学)	23
2. ティーチング・ポートフォリオ — 日本的大学風土への可能性 —	杉本 均 (京都大学)	25
3. 「マンガ的ものの見方、考え方」と「合気道、和の心」の傍聴記	金崎 良三 (佐賀大学)	27
4. 日本の大学体育における野外教育の現状 — 海洋型プログラムへの取り組みを中心に —	柳 敏晴 (鹿屋体育大学)	29
5. 大学教育における野外教育の可能性を探る	山本 教人 (九州大学)	31
1) 大学体育における野外教育の位置づけ	柳 敏晴 (鹿屋体育大学)	33
2) 短期大学での体育科目の現状と野外教育導入の問題点	宇部 一 (精華女子短期大学)	35
6. 小学校・高等学校の体育授業から見えてくるもの		
1) 高志館高校における体育授業の実態	松雪 誉 (高志館高等学校)	37
2) 小学校の体育の授業づくりの視点	藤井 裕明 (若木小学校)	40
3) シンポジウムを振り返る	福本 敏雄 (佐賀大学)	42
7. 体育・スポーツ教育研究発表		
1) 運動に伴う一過性のポジティブな感情の増加とメンタルヘルスの改善・向上との関係	橋本公雄・渡壁史子 (九州大学)	44

2) 大学体育におけるアルティメット (Ultimate) 実践の検討 — 大学生の学び — .....	中島 憲子 (中村学園大学・短期大学部) 45
3) 体育学書研究のキーワードに見る「今後の大学一般体育を支えるいくつかの概念」 — 文献研究による模索は我々の教育活動に明確かつ有力な視点を投げかけ得るか — .....	道向 良 (活水女子短期大学) 47
4) 組織キャンプの体験はメンタルヘルスを高めるか? .....	西田 順一 (九州大学大学院) 50
5) 健康科学講義へのディベート式授業の試み .....	磯貝 浩久 (九州工業大学) 52
<b>Ⅲ. 体育・スポーツ事情</b>	
1. 教育・研究ノート — 大学体育つれづれ — .....	市川 孝夫 (産業医科大学) 55
2. 海外だより — サンシャインコースト大学事情 — .....	洲 雅明 (大分県立芸術文化短期大学) 57
3. 大学めぐり — 鹿児島大学 — .....	長岡 良治 (鹿児島大学) 59
4. 九州地区大学体育連合研修会	
1) 研修会の概要 .....	61
2) 春季研修会参加の感想 .....	榊原 浩晃 (福岡教育大学) 62
3) 春季研修会を終えて .....	井上 伸一 (佐賀大学) 63
<b>Ⅳ. 事務局報告</b>	
平成11年度全国大学体育連合理事会・総会報告 .....	65
平成11年度九州地区大学体育連合事業報告 .....	68
平成10年度決算報告 .....	73
平成11年度決算報告 .....	74
平成12年度予算 .....	75
平成12年度事業計画 .....	76
九州地区大学体育連合規約 .....	77
平成11年度役員名簿 .....	78
平成12年度役員名簿 .....	79
平成11年度加盟大学 .....	80
平成11年度賛助会員一覧 .....	82